

第 3 血液对策

1 血液事業

(1) 献血推進事業

昭和 39 年 8 月献血推進について閣議決定され、医療用の血液は献血によって確保するとの基本方針が出されたが、本県においては同年 12 月に「福岡県献血推進協議会」を設置した。また県内市町村に献血推進協議会が設置されているが、県ではこれら推進協議会の指導育成に努めるとともに、県献血運動推進大会を開催するなど献血啓発に努め、さらに計画献血等の充実により、県民が必要とする輸血用血液の確保と円滑な需給を図っている。

昭和 61 年度には新献血事業がスタートし、献血者登録制度等の活用により、良質で安全な血液を確保するため、400ml 献血及び成分献血を中心とした献血制度の推進を図っている。

平成 15 年 7 月に、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が施行され、血液事業に係る関係者の責務が明文化され、国・都道府県・市町村・血液センター等の役割が明確になった。

平成 25 年 7 月 5 日に、皇太子殿下の御臨席を賜り、福岡国際会議場において「第 49 回献血運動推進全国大会」を開催した。

医療技術の進歩や血液製剤の適正使用の推進等により、5 年後、10 年後の血液製剤の需要は横ばいから減少傾向であると予想されている。しかし、若年層献血者数は減少傾向にあることから、将来にわたり安定的に血液製剤を供給する体制を維持するためには、若年層献血者の確保が重要な課題となっている。このことを考慮し、関係団体と連携して複数回献血者や若者層献血者の確保等の献血運動を推進するとともに、医療機関における一層の血液製剤の適正使用を促すことにより、安定的な需給体制の確保に努めている。

(2) 献血受入施設の設置状況

血液センター	施設名	所在地	電話
福岡県 赤十字血液センター管内	献血ルーム おっしょい博多	福岡市博多区博多駅中央街 2-1 博多バスターミナル 8 階	092-476-1400
	献血ルーム キャナルシティ	福岡市博多区住吉 1 丁目 2 番 25 号 キャナルシティ ビジネスセンタービル 1 階	092-272-5853
	献血ルーム 天神西通り	福岡市中央区大名 1-15-1 天神西通りスクエア 地下 1 階	092-726-1188
福岡県赤十字血液センター 北九州事業所管内	献血ルーム くろさきクローバー	北九州市八幡西区曲里町 3-1 イオンタウン黒崎 1 階	093-644-1211
	献血ルーム 魚町銀天街	北九州市小倉北区魚町 1 丁目 3 番 3 号 白樺ビル	093-551-1211

(3) 血液製剤使用適正化普及事業

血液製剤の有効利用を図るため、国において「血液製剤の使用指針」及び「輸血療法の実施に関する指針」が策定され、本県では、この指針に基づき、「福岡県合同輸血療法委員会」を開催し、血液製剤使用適正化の推進を図っている。

2 献血事業の状況

(1) 年度別献血者数

(単位：人)

年 度	400ml 献血	成分献血	200ml 献血	合計
H29	146,043	48,065	2	194,110
H30	145,968	52,159	6	198,133
R1	149,808	57,567	51	207,426
R2	148,546	64,262	65	212,873
R3	148,329	65,621	231	214,181
R4	152,530	64,395	568	217,493

(2) 令和4年度の献血状況

ア 令和4年度受入施設献血状況

内 訳	献血参加者数 (A)			献血者数 (B)			献血不適格者 (A-B)		
	移動献血	出張所	計	移動献血	出張所	計	血色素不足	その他	計
人 数	114,271	124,946	239,217	103,454	114,039	217,493	8,853	12,871	21,724
構成比	47.8%	52.2%	100%	47.6%	52.4%	100.0%	40.8%	59.2%	100.0%

イ 令和4年度年齢別・性別献血者数

性別 \ 年齢 (歳)	年齢 (歳)						計
	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	
男 性	7,326	19,252	23,289	38,376	43,688	20,847	152,778
女 性	2,699	11,042	10,160	14,737	18,304	7,773	64,715
計	10,025	30,294	33,449	53,113	61,992	28,620	217,493
構成比 (%)	4.6	13.9	15.4	24.4	28.5	13.2	100

